



糸東小だより

やさしく かしく たくましく

2月号 No.10

令和6年2月22日

校長 岩月高峰



校歌

作詞 利根川裕
作曲 中田良直

一 はらう
梅の花は
頬を寄せれば
夢は匂やかに
風に舞い立つ
若草の
萌えるいのちの
きょうのようこび
ニ とどろ
寄せらる海鳴り
眉をあげれば
夢はさかまいて
沖に翔ぶ立つ
若潮の
躍るいのちの
あすのとやめすい
昭和五十五年二月十五日
利根川裕書

2月上旬、新聞やテレビで利根川裕さんの訃報が伝えられました。利根川さんは、糸魚川中学校の卒業生で、当校校歌の作詞者です。作家であり、記事(→)にあるように「トゥナイト」の司会者でした。「トゥナイト」は、昭和～平成初期のテレビ深夜番組で、今話題のドラマ「不適切にもほどがある」で主演の阿部サダヲさんがよく言うセリフに出てきます。

当時が懐かしい人もいるのではないのでしょうか。

上の校歌の額には、「11月15日利根川裕書」とあります。昭和55年4月1日の開校後に書いていただいた物でしょうか。歴史を感じます。

校長室には、右(→)のような色紙が飾ってあります。平成16年10月31日に再度来校されたのでしょうか。また、糸魚川市の各学校にも、利根川裕氏の直筆の色紙が数多く残されています。多くの学校に利根川さんの書がある理由が分かりました。

「婦人公論」副編集長などを
経て作家になった。小説「糸魚
川心中」と「B少年の弁明」は
ともに直木賞候補に選ばれた。
ほかの主な作品に「それぞれの
方舟」「宴」「十一世市川團十郎」
など。80、94年にはテレビ番組
「トゥナイト」の司会を務めた。

新宿区の病院で死去、96歳。糸
魚川市出身。葬儀は家族で行つ
た。喪主は長男展(まこと)さ
ん。



利根川 裕さん(とねがわ・
ゆたかり作家)

1月29日午前3
時33分、下肢閉
塞、性動脈硬化
症のため東京都
新宿区の病院で死去、96歳。糸
魚川市出身。葬儀は家族で行つ
た。喪主は長男展(まこと)さ
ん。

作家、「トゥナイト」

躍るいのちの
あすのとやめすい
平成十六年
十月十五日
利根川裕

去る13日に、6年生を対象にした「薬物乱用防止教室」が行われました。講師としてお越しいただいた上越少年サポートセンターの方が、薬物の違法性や危険性、誘われた時の断り方等を分かりやすく教えてくださいました。また、保護者や地域の皆さんも、心配事や悩みがあったら、遠慮なく連絡してほしいと仰っていました。警察の機関ですから安心ですね。

連絡先→新潟県警察本部 生活安全部少年課 上越少年サポートセンター 025-526-4970

金管移杖式

2月1日(木)に金管移杖式を行いました。今年は、全校児童とたくさんの保護者のみなさんに見てもらうことができました。6年生にじいろバンドの最後の演奏を聴き、指揮杖と楽器とベレー帽が5年生えがおバンドへと渡されました。

その後のえがおバンドの演奏を聞いた時に、物だけでなく、「やる気」や「誇り」という伝統もしっかりと引き継いだことを確信しました。

6年生から送られた「えがおバンドはみんなを笑顔にするバンド」という言葉を胸にこれから糸東小をリードしてください。にじいろバンドのみなさん、今まで素敵な演奏をありがとうございました。



そり遊びとスキー教室、今年も無事にできました

中学年は、雨模様で、高学年は雪の中、2年生と1年生はともに晴天に恵まれて、実施することができました。昔（私が子どもの頃）のスキー場付近は、冬に雨など降りませんでした。それどころか、バスに乗るには1.5 km雪道を歩いて下らなければならず、春になるまで道や土は見え、自家用車は冬眠状態でした。それが、このところの暖冬で、2月でさえも雪不足の心配です。そんな中、運よく全校が無事にスキー場での活動を行うことができました。ボランティアのみなさんご協力ありがとうございました。



1年 雪積み



2年 そり遊び



高学年 スキー学習

交通指導員さん、防犯パトロール員さん、感謝の会 2月20日

3名の参加者からは、「あいさつの大切さ」「自転車乗車時のヘルメットの着用」「以前糸東小に来たクマ」などのお話をいただきました。これからも自分から挨拶をすることが当たり前となるように声を掛けていきます。



新潟県の子は一番危険。と言われていきます。その理由は、自転車ヘルメットの着用率と横断歩道での車の停止率が47都道府県中最下位だからだそうです。ご家庭でも出かける前の一声をお願いします。

令和6年2月13日(火) 全校集会での校長の話 (趣旨を変えずに一部省略しています)

今日は、「やめられる力」のお話をします。

2学期の終業式でみなさんに心配なことについて次のように話しました。

『悪いと分かっているのにやめない』『注意されたのにやめない』『やめられない』ところが心配なのです。悪い大人になってしまわないか心配なのです。悪い大人になると本人もつらいし、家族もつらい。周りの人たちもつらく、不幸せになります。』

みなさんは、その後、気を付けて生活していますね。3学期の皆さんの様子は、とてもいいと思います。これからも続けてください。

先日、移行学級という行事で、新1年生がおうちの人と一緒に学校に来ました。校長先生は、おうちの人に次のように話しました。

「子どもは、間違ったこともいっぱいすると思います。子どもですから当たり前です。そこで叱るのではなく、優しく注意してください。そして、やめたり素直に謝ったりしたら、褒めてあげてください。子どもは小さな間違いを繰り返して成長します。悪いとわかったら、やめられるような子に育てたいと思っています。」

いつもみなさんに話すことと同じです。では、どうして「やめられる力」が大切なのか説明します。簡単に言うと、悪いことをやめられない大人は、逮捕されるからです。幸せになれないからです。誰であろうが、悪いことは悪いのです。

ところでみなさんは、学校や家で叱られたり注意されたりすることがありますよね。その原因が、「やめられない」ということが多くないですか？・・・そうですね。これだけでも、「やめられる力」は、とても大切だということが分かります。

さらにわかりやすく例えてみます。みなさんそりやスキー教室に行きましたね。(2年生は明日) そりもスキーもスノーボードも、安全に止まれる。しっかりと止まれる。から、楽しく滑ることができるのです。自転車や車なども同じです。自分の思ったところで止まれる。だから安心して乗れるのです。もし、止まれない車があったら、怖くて乗れませんよね。

「やめられる力」は、自分にとってのブレーキです。そのブレーキを自分で調節してしっかり止まれる子、しっかり止まれる大人になってください。

ただ、失敗や間違いを怖がって、ずっと止まったままでも困ります。

今の学年で、学校に来る日は、あと27日です。先生方は、みんなのできることを増やし、同時にしっかりとブレーキも使えるように応援していきます。

不審者対応の避難訓練

1月30日に不審者侵入に備えた避難訓練を行いました。決してあってはならないことですが、万が一の事を考えての訓練です。そしてこれは、子どもたちと同時に職員の訓練でもあります。事前に警察の方に指導をしていただき、当日に臨みました。子どもたちも職員も真剣な表情で警察の方の話を聞くことができました。



さすまたを使っでの訓練

学校運営協議会

今年度3回目の学校運営協議会を2月20日(火)に行いました。委員のみなさんには、短時間ですが授業参観をしていただき、子どもたちの様子も見ていただきました。参観の後は、今年1年の学校の取組や様子を説明し、委員からは地域での子どもたちに様子や今後の課題等が出され、有意義な会となりました。これからの教育活動に生かしていきたいと思います。



の予定



- 1日(金) 学習参観・PTA総会・学年懇談会
- 5日(火) 学期末事務整理①(全校 15:00 下校) PTA執行部・専門部引継ぎ会
- 6日(水) 6年生を送る会
- 7日(木) 委員会(4・5年)
- 8日(金) 学期末事務整理②(全校 15:00 下校)
- 12日(火) 学期末事務整理③(全校 15:00 下校)
- 13日(水) メディアコントロールデー
- 21日(木) 3学期終業式(給食後下校)
- 22日(金) 卒業式
- 23日(土) ~学年末休業
- 26日(火) 離任式

※ 学年始休業は4月7日(日)まで。新任式・始業式は4月8日(月)



先日2年生の読書の時間の出来事です。ある男の子が図書館司書の先生に「せなけいこさんの○○って本が面白かったです～」という感じで話しかけていました。小学校低学年の子が作者名を言っていることに驚愕しました。しかもさりげなく。まるで大人の会話の様でした。面白かった本の作者に興味を持ち、その作者の違う本へと広がっていく。読書って いいね! (・∀・)イネ!!